

編集顧問

生田 房弘	臺 弘
大友 英一	金澤 一郎
酒田 英夫	島津 浩
杉田 秀夫	高倉 公朋
塚田 裕三	中里 洋一
彦坂 興秀	平山 恵造
藤澤浩四郎	真柳 佳昭
萬年 甫	水野 美邦
柳澤 信夫	

編集委員

岩田 誠 (編集主幹)	
石塚 典生	糸山 泰人
内山真一郎	梶 龍兒
河村 満	高坂 新一
作田 学	辻 省次
寺本 明	中込 忠好
中野 今治	水澤 英洋

編集同人

入来 篤史	岩田 淳
宇川 義一	内原 俊記
大隅 典子	岡部 繁男
神田 隆	木村 和美
久保 義弘	栗栖 薫
桑原 聡	小林 靖
斉藤 延人	砂田 芳秀
高橋 良輔	瀧山 嘉久
武田 伸一	千葉 厚郎
平田 幸一	寶金 清博
星 英司	星野 幹雄
本田 学	松野 彰

(五十音順)

あとがき

およそ 30 年前、私が臨床神経心理学を志した頃「よりによって、なぜそのような領域を選ぶのか？」と多くの先輩・後輩に聞かれた。理由はいくつもあったが、第 1 に恩師平山恵造先生から教えを受けていた神経症候学の延長として、大脳病変の神経症候学を身につけたくて神経心理学の臨床を勉強したいと思ったのである。「神経症候学はもう古い。何も発見はない」と本気で心配してくれる先輩もいた。

しかし、本号特集を読むと、この 30 年間に、本邦で臨床神経心理学・神経症候学の新規発見がいくつもあったことがわかる。私自身もこれらの発見に一部関係することができた。臨床神経心理学を志してよかった、と今心から思う。

週に 1 回外来をしていた鶴見の病院に、友人塩田純一先生が 1 枚の X 線 CT 写真を持ってきた。あまり感情を表に出さない彼にしては珍しく興奮した様子であった。診察室のシャーカステンに写真をさっと掲げ、「これどう思う？」といった。その画像所見は今でも私の脳裏に鮮明に焼きついている。右の脳梁膨大後域に限局した小さな高吸収域があった。「タクシーの運転手さんで、運転中に道順がわからなくなった」、ということであった。塩田先生と私は一緒に大いに興奮して、今後の検討事項を整理した。本号特集で高橋伸佳先生が書いている「道順障害」の、何番目かに経験した症例である。プロフェッショナルの運転手が道順能力を失ったので、詳しい検討をさせていただくことができた。高橋先生は休日に自宅のある千葉から鶴見まで通って検査した。グループで相談し、学会で発表し、論文にするまで皆ずーっと幸せであった。

山鳥 重先生の「語義失語」、岩田 誠先生の「読み書きの二重回路モデル」、田代邦雄先生の「逆 Chaddock 徴候」、いずれの論文も、これらの症候の発見過程と現代的意味が書かれている。難解とされている症候が実に平易に、さりげなく提示されており、どれも力作である。

最後に、平山恵造先生の「母指/母趾さがし試験」論文を読んで目が覚めた。日本語表現の重要さを再度確認する必要がある、と感じたからである。直接指導を受けた先生の論文であるし、内容は千葉大時代にお手伝いしたもののでもあり、どのように書かれているのかには興味を持っていた。しかし、この総説論文は平山先生の従来の論文の書きようとはかなり異なっている。これまでの論文にはない明確な意図が加わっている。それは、神経症候の診方を正しく伝えようとする激しい意欲である。吟味された用語が使われ、正確な表現で、さらに目次・下線・注意事項などの工夫が添えられ、図もオリジナル論文で使われたものが改変され洗練されている。神経症候学伝承の強い姿勢を感じさせる。まるで時代に逆行するかのような現象学的徹底性を批判する人もいるかもしれない。英文論文執筆が大切で、研究者にとって日本語総説はあまり意味がない、という立場も理解できる。でも私は、若い読者に、どのような専門領域であっても正しい日本語で書かれたこの論文を読んでほしい。そして、このような論文の書き方があることを知っていてほしい、と思う。私たちは日本語で思考しているのだから。

(河村 満)

BRAIN and NERVE

(第 63 巻 第 8 号)

2011 年 8 月 1 日 (毎月 1 回 1 日発行)

定価 2,730 円 [本体 2,600 + 税 5 % (配送料実費)]

2011 年 年間購読料 (税込み、配送料弊社負担)

冊子のみ 35,460 円、冊子 + 電子版 46,100 円、電子版/個人 35,460 円、

電子版/共有 40,780 円

販売部直通電話 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693 番

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701 (小藤・多淵・山崎)

FAX (03) 3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

印刷所 (株)アイワード (011) 241-9341

広告申込所 (株)ハイブリッジエージェンシー (03) 3814-0089

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2011, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は(株)医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- JCOPY (株)出版者著作権管理機構委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。